

国立国語研究所学術情報リポジトリ

プロジェクトの概要

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002448

プロジェクトの概要

1 プロジェクトの目的

「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」は、国立国語研究所の基幹型共同研究プロジェクトとして2009年にスタートしました。プロジェクトの目的は以下のとおりです。

グローバル化が進む中、世界中の少数言語が消滅の危機に瀕している。2009年2月のユネスコの発表によると、日本語方言の中では、沖縄県のほぼ全域の方言、鹿児島県の奄美方言、東京都の八丈方言が危険な状態にあるとされている。これらの危機方言は、他の方言ではすでに失われてしまった古代日本語の特徴や、他の方言とは異なる言語システムを有している場合が多く、一地域の方言研究だけでなく、歴史言語学、一般言語学の面でも高い価値を持っている。また、これらの方言では、小さな集落ごとに方言が違っている場合が多く、バリエーションがどのように形成されたか、という点でも注目される。

本プロジェクトでは、フィールドワークに実績を持つ全国の研究者を組織して、これら危機方言の調査を行い、その特徴を明らかにすると同時に、言語の多様性形成のプロセスや言語の一般特性の解明にあたる。また、方言を映像や音声で記録・保存し、それらを一般公開することにより、危機方言の記録・保存・普及を行う。

(国立国語研究所ホームページより)

2 これまでの調査

2010年度から2015年度までの6年間に11回の調査を行いました。その概要は次のとおりです。★については、報告書をウェブで公開しています。また、☆については基礎語彙の音声をウェブで公開しています。

・鹿児島県喜界島方言（奄美語）	2010年9月9日～15日	★ ☆
・沖縄県宮古方言（宮古語）	2011年9月4日～7日	★
・東京都八丈島方言（八丈語）	2012年9月5日～10日	★ ☆
・鹿児島県与論島方言・沖永良部島方言（国頭語）	2012年12月1日～6日	★ ☆
・沖縄県久米島方言（沖縄語）	2013年12月1日～5日	
・島根県出雲方言	2014年8月17日～21日	★
・宮崎県椎葉村（尾手納・日当）方言	2014年9月1日～6日	
・宮崎県椎葉村（日添）方言	2015年3月9日～13日	
・宮崎県椎葉村（小崎）方言	2015年5月8日～11日	
・宮崎県椎葉村（梅尾）方言	2015年9月6日～11日	
・島根県隠岐の島方言	2015年11月8日～11日	

3 共同研究者

プロジェクトの共同研究員は以下のとおりです。(2016年2月1日現在)

研究代表者：木部暢子(国立国語研究所)

共同研究員：五十嵐陽介(一橋大学)，井上文子(国立国語研究所)，ウエイン・ローレンス(オークランド大学)，上野善道(東京大学名誉教授)，大西拓一郎(国立国語研究所)，小川晋史(熊本県立大学)，荻野千砂子(福岡教育大学)，金田章宏(千葉大学)，狩俣繁久(琉球大学)，久保智之(九州大学)，久保蘭愛(愛知県立大学)，窪蘭晴夫(国立国語研究所)，熊谷康雄(国立国語研究所)，クリス・デイビス(琉球大学)，小西いずみ(広島大学)，小林隆(東北大学)，佐々木冠(札幌学院大学)，重野裕美(広島経済大学)，下地賀代子(沖縄国際大学)，下地理則(九州大学)，田窪行則(京都大学)，竹田晃子(国立国語研究所)，ダニエル・ロング(首都大学東京)，トマ・ペラル(フランス国立科学研究所)，中島由美(一橋大学)，仲原穰(琉球大学)，西岡敏(沖縄国際大学)，新田哲夫(金沢大学)，日高水穂(関西大学)，ブガエワ・アンナ(国立国語研究所)，又吉里美(岡山大学)，町博光(安田女子大学)，松浦年男(北星学園大学)，松田美香(別府大学)，松本泰丈(別府大学)，松森晶子(日本女子大学)，三井はるみ(国立国語研究所)，山田真寛(京都大学) (五十音順)

プロジェクト研究員：乙武香里(プロジェクトPD)，坂井美日(プロジェクトPD)，盛思超(プロジェクト非常勤研究員)